

学部 / 看護専門領域 / 看護援助の方法  
科目コード:140005

## 成人・老年看護方法論演習Ⅲ Practice:Adult and Gerontological Nursing Ⅲ

担当教員	臺 美佐子、松本 智里、今方裕子、瀧澤 理穂、紺家 千津子、大西 陽子、額 奈々、北村 言、中道 淳子、大橋 史弥、近藤 考朗、松本勝、長谷川 陽子				
実務経験	複数の教員が担当しており、全員に病院勤務経験がある。				
開講年次	3年次前期	単位数	1	授業形態	演習
必修・選択	必修	時間数	30		
Keywords	成人期、老年期、慢性期、終末期、移行支援(退院支援)、継続看護、看護展開				
学習目的・目標	<p>目的: 健康レベルや病態的特徴に即した成人期・老年期の対象の理解や看護問題解決に必要な技術の基本を修得する。また、対象の移行支援や継続看護に必要な視点を身に付け、その具体的な援助方法を理解する。</p> <p>目標: 1. 慢性疾患やがんを有する患者の、症状・生体機能管理技術を実践し修得できる。 2. 慢性疾患やがんを有する患者の、感染予防技術を実践し修得できる。 3. 慢性疾患やがんを有する患者の、清潔・衣生活援助技術を実践し修得できる。 4. 慢性疾患やがんを有する患者の、呼吸・循環を整える技術を実践し修得できる。 5. がん・終末期の患者とその家族への看護支援方法を修得できる。</p>				
授業計画・内容					
回	内容				担当
1	移行支援と継続看護				松本 他
2-3	血糖測定とアセスメントに基づく栄養指導				瀧澤、長谷川 他
4-5	移行支援と継続看護 事例展開①				松本 他
6-7	移行支援と継続看護 事例展開②				松本 他
8-9	がん患者のフィジカルアセスメント				瀧澤 他
10-11	がん薬物療法や放射線治療中の感染管理技術・日常生活支援				今方 他
12-13	がん・終末期の患者とその家族への看護支援				今方 他
14-15	リンパ浮腫のアセスメントと複合的治療				臺 他
教科書	系統看護学講座:成人看護学総論、医学書院 系統看護学講座 専門分野Ⅱ 成人看護学6内分泌・代謝 8腎・泌尿器				
参考図書等	疾病・障害論で使用したテキスト 看護学大辞典第6版(電子版)メジカルフレンド社 系統看護学講座 専門分野Ⅱ 成人看護学2~5、7、9~11 水谷信子他編、最新 老年看護学、第3版、日本看護協会出版会、2020。				
評価指標	レポート課題20%、筆記試験80% *講義、グループワークの時間数の2/3以上の出席がなければ、試験は受験できず、評価の対象にはならない。 *授業態度において、事前課題に取り組んでいない場合や、遅刻等の場合、減点の対象とする。				
関連科目	本科目の履修は、基本的に成人看護学概論、成人看護方法論Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ、老年看護学概論、老年看護方法論Ⅰ・Ⅱを履修し、単位認定されていることが望ましい。 関連科目:成人看護学概論、老年看護学概論、成人看護方法論Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ、老年看護方法論Ⅰ・Ⅱ、成人・老年看護方法論演習Ⅰ・Ⅱ、成人・老年看護学実習(急性期)、成人・老年看護学実習(慢性期)、解剖生理学/演習、代謝と栄養、疾病・障害論Ⅰ~ⅡC、フィジカルアセスメント、薬理学など				
教員から学生へのメッセージ	この演習では、慢性期・終末期看護の基本的技術を学びます。看護実践で大切なことは、病態生理をもとに、対象者の方々の心理社会的背景、人生観、どのように生きていきたいかといったことを理解して、看護技術を計画・実施・評価することです。看護技術の基本を学び、リフレクションで技術を磨き、様々な事例への展開を目指しましょう。				